

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↓ 取り組んでいきたい項目

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	介護教室の開催、認知症の研修会を老人クラブなどで行う計画を運営推進会議を通じて検討中
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		○	介護教室の開催、認知症の研修会を老人クラブなどで行う計画を運営推進会議を通じて検討中
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価での指摘項目を職員会議を使って周知し、具体的にどのように対応していくかを各フロアごとで検討している。	○	ホーム玄関の開錠をするために細かい目標を立て身近な問題から解決を始めている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブでの研修の計画 ・ホーム通信の地域配布 ・清掃活動、地区行事への参加 		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の花火大会への参加協力などを頂いている。 ・感染症や食中毒に関する研修会や相談に乗っていたりしている。 		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している		○	研修会への積極的参加、インターネットより得た情報の周知。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	フロア会議、全体会議を利用しての入居者様処遇のあり方、虐待になりうる行動、言葉などの研修会をすることも、実際の事例などを元に自分たちの言葉や行動を振り返り、確認訂正をするようにしている。また、スタッフ同士が常に注意し合えるような関係作りを心がけている	○	ホーム内での定期的な研修、処遇の見直しをしていく。

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約書・重要事項説明書の読みあわせを必ず行い、内容の確認をしていただき、質疑応答の時間確保している。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・小さな外出ひとつでも必ず入居者様の意見を聞き外出先の決定を行っている。 ・食事の内容、味付けなど入居者様の意見や様子を確認しながら検食簿をつけている。 ・折に触れ入居者様が困っていることを確認し改善す	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に一度の通信の発行、必要に応じての家族の方への電話連絡を行っている。 ・月に一度小遣い帳のコピーをご家族に送付し内容の確認等があればその都度対応している。またホームへ面会にいらしたときにも確認していただいている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・苦情相談窓口の設置の周知を重要事項説明書に記載 ・本社相談窓口の提示 ・ホーム意見箱の設置 ・面会時のご家族へのお話、要望などの確認	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・フロアー会議、全体会議での意見徴収	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・予定を事前に立て、必要に応じての人員確保に努めている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・基本的に職員の異動を行うときは必要最低限の人数で行うようにしている。また、普段の生活の中でフロアー交流にも勤めており、スタッフ全員の顔が利用者様に判るような配慮をしている。	

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○	積極的な情報交換をするための定期的な会議の開催を行うようにしたい。また、他市町村とも交流を深めていくために山梨市独自の委員会の設立
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご見学時、アセスメント時にホーム利用のことだけではなく状況に応じた他サービスに利用を提案したりしている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	契約前に体験入居を実施している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に利用者様のニーズを追及しつつご本人に何が必要であるか、大切にしていかなければならないかを考えながら介護に当たっている。また、ご本人の楽しみを生かした介護、悲しみを受け止められるような介護をしている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者様ご本人のことを第一に考えご家族と協力して支援していくことでご家族の利用者様への思いを生かすとともに悩みを解消できるように働きかけている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	できる限りの面会の推進、ホーム行事へのご家族の参加をしていただくことで疎遠にならないような配慮をしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご親戚、知人、友人のホームへのご面会を歓迎している。昔住んでいた家などにご本人をお連れしたり周辺をドライブしたり散歩いたりしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合った入居者様小集団で外出の実施協力して行うアクティビティーの実施(炊作業、調理等)入居者様同士での洗濯、掃除など出来る方が、出来ない方と協力して行えるよう援助		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らない付き合いを大切にしている	特別養護老人ホームなどにご転居された方からもその後の生活についてのご相談に応じている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個人のニーズに応じた1対1での外出 個人の趣味への協力	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	居室で利用する家具などを以前から使っていたものを持ち込んで利用していただく。 昔からの趣味や生活習慣に出来るだけ即した援助	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	出来る限りご自分で出来ることはして頂けるような声掛けと行動しやすいような環境づくりを心がけている。 食事、排泄などが自己コントロール出来ない方への場所、時間の案内をしている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	フロア会議、ケアカンファレンスを利用し課題の抽出、解決策の相談をしたうえでのケアプランになるように努力している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況に応じた対応は常に心がけており介護計画の早急な変更も行ってはいるが、細かな日常生活の事柄に関しては個人の申し送りノートの活用により介護に反映させるようにしている。	

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録とは別に個別の申し送りノートを作成し処遇の微妙な変化にも直ぐに対応できるようにしている。また、ご家族からの連絡、要望に関してもそのノートに記載している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携による訪問看護師による健康保持を行い通院回数の軽減、また必要性の確認をしていくことでより長く慢心してホームでの生活を続けていけるような働き掛けをしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の生命保険会社からの定期的なボランティア協力 地元消防団消防団との連携		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームでの生活が困難な方に関してはご転居先の相談にのっていただいたり、一緒に転居先を探したりしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議参加によりホームの情報と地域の情報との交換が出来るようになっている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご希望により往診医の紹介をしている。また往診医より総合病院との連携も取れている。		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科への通院援助、相談センターの活用 往診医よりの紹介状の利用により利用者様の状況理解がスムーズに行われている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携体制による訪問看護師との協働援助		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	各病院のソーシャルワーカーとの連携を密にして必要に応じて医師を交えた相談をしている。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族に常に利用者様の状況を伝える努力をし、ご家族を通じて医師の見解を把握をしたり方法を検討したりして、直接医師との相談をご家族に伝えその後の方針を立てている。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている		○	可能性や心の準備については話しているが、実際にはまだ準備できておらず、今後事例研究を通して準備をしていきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	転居の際には転居先のスタッフ、ケアマネージャー等がご本人に会いにこられた時にご様子の説明をさせていただきます。 情報提供書の提出も合わせて行っている。		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いについては事あるごとに注意、確認をしています また、常に職員同士で注意し合い適切な言葉が使われているか確認するとともに、自らの行動を常に振り返り次の行動に役立てる用指導しています。 秘守義務の重要性の説明、各種記録の持ち出し禁止	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご自分で生活の組み立てが難しい方には、こちらからいくつかの選択肢を提供しその中から選んでいただくことで出来るだけご本人の意に沿うような働きかけをしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様がご自分のペースで生活できるように1日の流れを組み立てるよう努力している。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホームで理髪が出来るよう2ヶ月に1度は訪問美容師を頼んでいます。また個人的に出かけて生きたい方にはその援助を、ご家族で希望がある方には一緒に出かけて行ったりしていただいています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューに関しては本社一括で作成していますが地域性を生かしたメニューや、入居者様の好みや反映できるように検食簿を使い職員が入居者様の好み、調理方法を検討しながら調理しています。	○ 現在は調理スタッフのみが料理をしている状態であるが今後入居者様と介護スタッフも含めた形で行えるように調整して行く。 炊飯、味噌汁作りに関してはすでに一部実施しています
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒される入居者が1名いらっしゃいますが医師とも相談の上適量飲んでいただいています。	

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を利用し利用者の排泄パターンを把握しトイレ誘導お行うことでオムツ使用を軽減している。現在オムツを使用している入居者様はおらず、パット、リハビリパンツのみにて対応。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	出来る限りその方が入浴したい時間帯、日を選んで実施しており、毎日入浴を希望される方には時間の許す限りは入浴したいいただいています。また予定がなかった方にも声がけをして入浴していただけるように配慮しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	就寝時間などは一切決めずに好きなときにお休み頂く様にしています。また眠る事への不安がないように常に職員が起きている事、見守りをしていることを伝えるようにしています。また、良い眠りを作るために日中適度に体を動かしていただくような取り組みもしています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、洗濯、掃除などの手伝い 月に最低2回の買い物および外出 月に1度の外食		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で金銭管理の出来る方に関しては極力財布の管理をしていただいています。 金銭の感覚、管理が及ばない方に関してはご家族の同意を得てホームで預かり、外出時にはご本人にお預けしてご本人に支払いをして頂くような援助をしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩の実施 外出希望が出た場合には、極力その希望を中心に一日の流れを組み立てています。 希望が出ない場合でもこちらからの提案でドライブや催し物の見物に出かけています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個人の希望に沿って1対1での外出をしています。		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話のご希望があれば職員がお手伝いをしたり、かけて差し上げたりしています。 お手紙を頼まれれば職員が出しにいたり、外出の際と一緒に出しに行ったりしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間などの制限はせず、早朝、夜間を問わずに面会に来ていただくようお話しています。また、職員にも笑顔で挨拶するように心がけてもらっていますし、フロアで一緒にお話したりしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	本社でも身体拘束廃止委員会の設置をし、職員に身体拘束とはどんなものであるかの周知をしている。 各フロアに身体拘束に関する書類を設置している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		○	ホーム内は自由に行き来できるように階段以外は施錠していないが、玄関に関しては見当識障害を持っている入居者様が大半のため現在は施錠している。職員の所在確認の意識の向上、具体的な対策を現在精査している最中。また、地域の協力を得る方法を
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	転倒の可能性の多い入居者様に関してはさりげなく特に見守りを強化して業務に当たるようにしている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人によってはセンサーチャイムの使用、夜間に関しては起きたことがわかるようにお断りをして布団に鈴を着けさせていただいています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者様それぞれにあった方法で対応しています。		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている		○	職員の入替えがあり救急法をマスターしていない職員もいる為8月にホーム内研修、9月に消防署の講習を予定しています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非難の訓練はしているが、地域の人々との協力体制は構築中。	○	上記の研修、講習とあわせて行う予定。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時にはもちろん、状況の変化に応じ、その都度ご家族へのリスク確認、対応の方法を説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル測定、入浴前のバイタル測定はもちろん、表情や動きの変化によつての様子観察、バイタル測定を実施し必要に応じて医師へ連絡し指示を仰いだり、訪問看護師を呼んで対応したりする。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ホーム長をはじめ各ユニットのリーダーは入居者様がどのような薬を服用しているかの把握に努め、各担当は最低限自分の担当の方の服薬状況の把握をするようにしている。また、把握できていなくても説明書を見れば直ぐにわかるようにしてある。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便状況の把握を行い、状況により通常より水分量を増やしたり、腹部マッサージを行ったりを手始めに、下剤による排泄コントロールを医師との相談の上で行っている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の航空ケアの実施 定期的に義歯を薬品にて洗浄している		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	午前、午後とも最低1回の水分補給を確保 入浴後の水分補給援助 食事量をチェックし少ない場合はおやつ等での補助を行い足りない場合は医師への相談をする。 月に1度は必ず体重測定を行う。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	各フロアーにマニュアルを設置し職員周知している。 時期ごとに再度確認の指示をする。 ホームに出入りする者のうがい、手洗いの徹底		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的な煮沸消毒、薬品による洗浄、消毒 厨房における滅菌消毒		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や植木によって明るい雰囲気作りを心がけている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	あまり多くの装飾はせずどこことなく季節感を味わえるような飾りつけを心がけている。また、入居者様の描かれた絵や 書道などを飾ったりしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でひとりになれる場所はないが、おおよそそれぞれの利用するスペースが決まっている。 廊下には2, 3人が座って話の出来るベンチを設置している		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	エアコン、洗面台以外はすべて好みのものを購入したり持ち込んだり出来るようになっている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇は常に作動しており必要に応じて職員がコントロールできるようになっている。 エアコンの温度調節も各個室にて行えるようになっており個人の好みで調節できる。 毎朝必ず換気の声掛け援助を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有スペースには至る所に手すりを設置しており、安心して移動できるようになっている。 居室に関しては必要に応じてベット柵や手すりを使用している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各場所の名称を表示してある。 トイレ、浴室に関しては使用していることがわかるように札を使用している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物沿いには花や植木があり、前庭には花壇があり、ベンチに座って観賞出来るようになっている。 西側の窓から見えるところに畑を借りてあり皆で作業している様子も見えるようになっている。		

事業所名：愛の家グループホーム山梨小原西

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)